



昭和のニュースが甦る！

回想新聞

- 媒体資料 -
2019年版

「回想新聞」とは

回想新聞は、昭和の懐かしいニュースや出来事を伝えることで、ここから生まれる共通の話題が「世代を超えた会話の架け橋」となるような紙面作りを目指しています。新しい記憶が入らなくなってしまった高齢者の方々でも楽しめるように、そして若い方にも興味をもってもらえるように、昭和のニュース記事をすべて新しいコンセプトのもと書き下ろしています。回想新聞は“古いけれど新しい新聞”です。

● タイトル 「回想新聞」

● 仕様 一般紙と同じブランケット版サイズ (40.6cm × 54.6cm) 2ページ(表裏)

● 読者層 シニア層

● 販売方法 WEBサイトを通じての通信販売

- ・ 個人向け10部単位での販売
- ・ 企業団体向け

50部：月額2,750円(送料込・税別)

100部：月額3,850円(送料込・税別)

※上記以上の部数につきましては別途お見積りとなります。

※20日までにご連絡で翌月から中止できます。

● 累計発行部数 100万部

● 1号発行部数 10万部

● 発行サイクル 月刊(毎月1日発行)



読者プロフィール



- ・男女比: 概ね、50%、50%
- ・年齢分布: 概ね、60歳～90歳

「懐かしい!」「あー、こんなこともあった!」
(65歳以上シニア層)

そうそう!昭和ってこんな時代だった〜。
あの出来事ってこういうことだったんだ!
(45～64歳)

但し、高齢者と接する機会が多い20～50歳代も、
高齢者と話すための知識習得を目的で、読者になっていただいています。

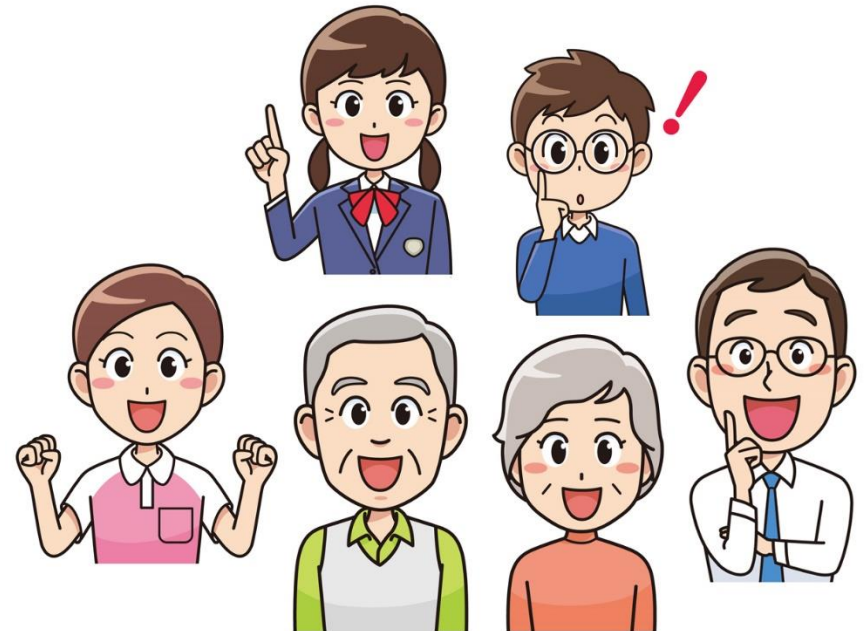
へえー!昭和ってこんな時代だったんだー!
(18～44歳)

●平均年齢:
<高齢者>65歳～75歳 <ビジネス従事者> 40歳

●読者の反応

<高齢者>
「凄く懐かしい!」と大変喜ばれ、同じ新聞を、直ぐに捨てずに、何回も何日も繰り返して読まれます

<ビジネス従事者>
「これは顧客の高齢者に喜ばれる」と言われます



OEM版とは

回想新聞の裏面に全面広告を入れ、各クライアント企業様ごとにオリジナル版を発行しています。記事はバックナンバーよりお選びいただくことができます。部数は、クライアント企業様にご決定いただき、クライアント企業様へ一括納品させていただきます。

■OEM版導入のメリット



- 新聞名を貴社オリジナル名に変更できます！
※右、赤文字部分が可変情報です。
- 2000部から承ります！

広告スペースは基本的に裏表全3段ですが裏面は全面広告も可能です。記事紙面は回想新聞のバックナンバーよりお選びください。2,000部より印刷を承ります。



料金表

OEM版の料金は次の通りです。

部数	料金	単価
2000部	100,000円	50円
5000部	160,000円	32円
10000部	200,000円	20円
30000部	365,000円	12円
50000部	500,000円	10円

納品までの流れ

お申し込みいただいてから、発行させていただくまでの流れです。

①紙面選び

回想新聞バックナンバーより、ご希望の紙面をお選びください。

②タイトル周りの決定

可変可能部分について、表記方法をご決定ください。

③広告データのご入稿

御社にて、広告データを作成し、ご入稿ください。

④仕上がり紙面のご確認

Pdfをお送りしますので、紙面の仕上がりイメージ確認をお願いします。
最終確認が終了した際、納品スケジュールが確定します。

⑤印刷用データの作成・印刷

回想新聞にて印刷用データの作成し、印刷工程に入ります。

⑥発送・納品

最終確認より7営業日を目途に
2つ折り状態で梱包し、御社して場所へ納品いたします。
※複数個所納品は、別途費用が発生します。
※4つ折り納品の場合、別途料金と、5営業日分追加納期を頂きます。

